

1. 製品及び会社情報

整理番号 T-026

製品名称 ネオ・カラークリーン（グレー）
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 建築用塗料
使用上の制限 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと
会社名 ミツ星ベルト株式会社
住所 兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
電話番号 078-685-5771

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期（急性） 区分3
水生環境有害性 長期（慢性） 区分2
(注)記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に毒性
【安全対策】
環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
【応急措置】
漏出物を回収すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
【廃棄】
内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

注意書き

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別
化学名又は一般名:

混合物
アクリルシリコン樹脂系エマルションペイント

成分	含有量 (wt%)	CAS No.	化管法政令番号	化審法番号
酸化チタン(IV)	15~20	13463-67-7	—	1-558
酸化スズ(IV)	<1.0	18282-10-5	—	1-551
酸化第二鉄	<1.0	1309-37-1	—	1-357
水酸化鉄(III)	<1.0	20344-49-4	—	—
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	0.2	330-54-1	管理番号169	—

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15. 適用法令」を参照下さい。

4. 応急措置

応急措置の記述	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。 溶剤、シンナーを使用してはならない。 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	嘔吐物を飲み込ませてはならない。 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。 負傷者を安静にし、直ちに医師の診察を受ける。
応急措置を行う者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤	
適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。 この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	データなし
消火を行うものへの勧告	
特定の消火方法	周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、 保護具および緊急時措置	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する予防措置 封じ込めおよび 浄化方法と機材 二次災害の防止策	河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	(取扱者の暴露防止) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱い注意事項	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
接触回避 衛生対策	データなし 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件 (避けるべき保管条件)	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標	
管理濃度	データなし
許容濃度	

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2022) 1.5mg/m³(吸入性粉塵); 2mg/m³(総粉塵)

(酸化第二鉄)

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³

(酸化チタン(IV))

ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m³(R)(下気道刺激; じん肺症)

(酸化スズ(IV))

ACGIH(2019) TWA: 2mg-Sn/m³(I)(じん肺)

(酸化第二鉄)

ACGIH(2006) TWA: 5mg/m³(R)(じん肺症)

(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)

ACGIH(1996) TWA: 10mg/m³(上気道刺激)

ばく露防止
保護具

(呼吸器用の保護具)

呼吸用保護具を着用すること。

(手の保護具)

保護手袋を着用する。

(眼の保護具)

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

(皮膚及び身体の保護具)

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び
化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 灰色

臭い: 僅かアクリル臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH: 7.5-9.0

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度: 1.1-1.3g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

安定である

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性

急性毒性(経口)
[成分データ]
(酸化チタン(IV))
rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)
(酸化スズ(IV))
rat LD50 >2000mg/kg (REACH登録情報, Access on Aug. 2019)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
male rat LD50=3400mg/kg (ACGIH 7th, 2001)
(酸化第二鉄)
rat LD50 >10000mg/kg (HSDB, Access on July 2019)

急性毒性(経皮)
[成分データ]
(酸化チタン(IV))
hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
rat LD50 >2000 mg/kg (EPA Pesticides RED, 2003)

急性毒性(吸入)
[成分データ]
(酸化チタン(IV))
dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)
(酸化第二鉄)
dust: rat no death at 5.05mg/L (REACH登録情報, Access on Aug. 2019)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
dust: rat LC50 >5.05mg/L/4hr (REACH登録情報, Accessed Sep. 2020)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 データなし
データなし

呼吸器感作性又は
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性

データなし
[成分データ]
(酸化チタン(IV))
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
cat.2; EU Carc. 2 (EU CLP, Access on May 2020); (EPA Pesticides RED, 2003)
[IARC]
(酸化チタン(IV))
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(酸化第二鉄)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(酸化チタン(IV))
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
(酸化第二鉄)
A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない
[EU]
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質
データなし

生殖毒性

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素) 気道刺激性
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
[成分データ]
[区分1]
(酸化チタン(IV)) 呼吸器
データなし

誤えん有害性

1 2. 環境影響情報 生態毒性

水生環境有害性
[製品]
区分 3, 水生生物に有害
区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
(酸化チタン(IV))
甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
藻類 (ムレミカヅキモ) ErC50=0.025mg/L/72hr (水産動植物の被害
防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料, 2013)
水生環境有害性 長期(慢性)
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
魚類 (ゼブラフィッシュ) NOEC=0.001mg/L/35days (REACH登録情報,
2020)

水溶解度 (酸化第二鉄)
溶けない (ICSC, 2004)
(酸化チタン(IV))
溶けない (ICSC, 2002)
(酸化第二スズ)
溶けない (ICSC, 2004)

残留性・分解性 [成分データ]
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
急速分解性なし (BODによる分解度: 0%/28 days (METI既存点検結果,
1988))

生体蓄積性 [成分データ]
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
BCF=14 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性 データなし

他の有害影響
その他情報 オゾン層への有害性データなし
漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 国連番号またはID番号 : 該当しない

環境有害性
国内規制がある場合の
規制情報

正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法 特化則に該当しない
有機溶剤等に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
酸化チタン(IV)
名称通知危険/有害物
酸化チタン(IV); 酸化スズ(IV)
化学物質管理促進PRTR)法 該当しない。
消防法 該当しない。
化審法における特定化学物
質、監視化学物質、優先評価
化学物質 該当しない。
水質汚濁防止法 指定物質
酸化第二鉄; 水酸化鉄 (III)

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)

責任の限定について

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。また、当社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。